

第3章 柳瀬川回廊構想の目的と性格

1 構想の目的

本構想は、清瀬市の個性を代表する柳瀬川流域の水辺空間をまちづくりに生かし、水辺が持つ多彩な機能をだれもが楽しみ、生活に活気と潤いをもたらすことを目的に策定したものです。そこで、崖線の緑や親水公園などが形成する豊かな水辺環境を憩いの空間として整備するため、水と緑のシンボルとしての「柳瀬川回廊構想」をまちづくりの重点施策に位置づけていきます。

2 構想の性格

柳瀬川流域を、「清瀬市長期総合計画」と「清瀬市都市計画マスタープラン」では、緑と水の拠点とし、自然環境を生かした豊かで潤いのあるまちを形成する地域と位置づけています。また、「清瀬市みどりの基本計画」では緑化重点地区に定め、水と斜面林の一体的な保全に努めることとしています。

本構想は、これらを踏まえ、柳瀬川流域の水辺、緑、親水施設、文化財を遊歩道によりネットワーク化し、水と緑の回遊空間としての「柳瀬川回廊」を整備するための基本方針を示すものです。

